

洗淨液(M-sol)の調製法

(北海道赤十字血液センターで使用されている M-sol の調製法を改変)

洗浄血小板(M-sol)の調製手順

1. 用意するもの



- | | | | |
|------------------|------|------------------|------|
| a. 注射用水 | 1本 | g. 第2分離バッグ | 1バッグ |
| | | (600mlbag が2個連結) | |
| b. ソルアセトF | 1本 | h. 除菌フィルターバッグ | 1バッグ |
| c. メイロン | 1本 | i. シリンジホルダー-C | 1個 |
| d. ACD-A液 | 1本 | j. 操作アダプター | 1個 |
| e. 硫酸マグネシウム | 1本 | k. エア針 | 1個 |
| f. 第1分離バック | 1バッグ | 輸血口栓 | 1個 |
| (300mlbag が2個連結) | | | |

2A パーツの調製(第2分離バッグを使用)

第1バッグと第2バッグの間のチューブをクレンメでとめる。



第1バッグに注射用水 460mL を添加する。*



*注射用水は加圧しにくいので、エア針を用いてもよい

天秤にバッグをのせ、風袋を除去した後、添加する。

添加後、プラスチック針側のチューブを切り離す。



第1バッグに操作アダプターをつける。

硫酸マグネシウムを全量添加する。



硫酸マグネシウムにシリンジホルダー-Cをつけ、全量添加する。

シリンジをはずし、よく攪拌する。

第2バッグに 50g 移行させる



天秤にバッグをのせ、風袋を除去する。

第1バッグの内容物を第2バッグに50g移し替える。

添加後、チューブを根元から切り離す。

A パーツ



3. B パーツの調製(第二分離バッグ使用)

第1バッグに ACD-A 液 85g 添加する。



天秤にバッグをのせ、**風袋を除去**した後、添加する。

(プラスチック針は切り離さない)

メイロンの外装袋のインジケーターを確認し、取り出す。



インジケーターが黄色であることを確認

メイロン 35g を添加する。



ACD-A 液に刺した分離バッグのプラスチック針をメイロンに**刺し換**える。*

*使用後の ACD-A 液は、漏れないように輸血口栓で止める。



天秤にバッグをのせ、**風袋を除去**した後、添加する。

添加後は**静かに攪拌**する。

(強く攪拌すると CO₂ が発生し、pH が変動します!)

B パーツ



4. A+B パーツの調製

A パーツのピールタブに B パーツのプラスチック針を接続する。

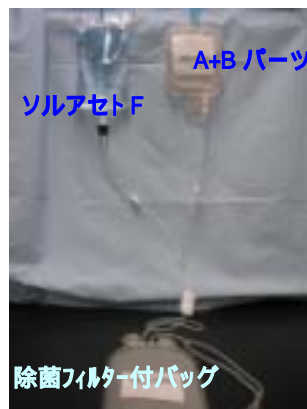


A パーツを B パーツへ添加する。



添加後、チューブを切り離す。

フィルター付バッグに A+B パーツとソルアセト F を接続し、除菌する。



液が流れきったら、フィルターの下でシールし、切り離す。
(チューブは長めの方が調製しやすい)

静かに攪拌する。

M-sol 完成



調製後は速やかに使用すること

* 必要量: 約 250mL (風袋を入れず、約 250g) 以上

調製後には、PH を測定し、中性 (PH: 6.4-7.1) であることを確認するのが望ましい。

5. 保存する場合

アルミ包蔵袋に入れ、真空パックする。



アルミ包装袋
(ラミジップ
AI-J)

除菌済み M-sol

真空パック後 M-sol



真空パック後は長期間保存可能である。